

Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために

◆市民は…

生涯にわたって学習や文化、スポーツ等に関心を持ち、その経験を地域での活動や子どもたちの教育に生かします。

◆事業者は…

その活動において、子どもの教育や青少年の健全育成に配慮するとともに、事業活動で培った専門性などを生かしながら、教育活動等に協力します。

◆行政は…

小中学校における教育水準を向上させるとともに、学習・文化・スポーツ等の振興のため、さまざまな環境整備に取り組みます。

1 生涯にわたる学習活動を促進する

■現状・課題

少子高齢化や都市化・核家族化の進行により、家庭や地域の教育力の低下や、防犯、地域福祉など、地域社会やまちづくりにおいて、新たな課題が生じています。また、一方で、団塊世代の大量退職に伴い、地域におけるまちづくりなどへの活動が期待されています。こうした中、市民が持つ豊富な知識や経験をより良い地域社会の創造につなげていくため、市民一人ひとりの学習成果が生きる生涯学習活動を促進することが重要になっています。

■取組の基本方向

「生涯にわたる学習活動を促進する」ため、地域での学習活動を通してまちづくりなどに貢献するための「社会をつくる人づくりの推進」、地域全体で子どもを育成していくための「家庭・地域の教育力の向上」、市民の主体的な生涯学習活動を促進するための「生涯学習活動への支援充実」に、重点的に取り組みます。

■基本施策目標

子どもから大人まで、市民の誰もが自分に合った学習の機会や場を得られるとともに、意欲をもって地域のための活動に取り組んでいます。

■重点事業

事業名	目的	内容	スケジュール						
親学の推進	家庭の教育力向上を図るため、「親学」（親自身がより良く子どもを育成する力を身につけるために学ぶこと）に関する事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆家庭教育に関する意識啓発事業 ◆親学出前講座の実施 ◆家庭教育講座の充実 ◆関係機関、団体等との連携 	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→			
前期	後期								
→									
家庭教育支援センター機能の整備	家庭教育への支援体制を構築するため、行政（保健、福祉、教育）及び関係団体等との連携協力により家庭教育支援事業を促進する拠点機能を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆保護者同士の交流促進事業の実施 ◆家庭教育に関する情報の集約、提供 ◆家庭教育サポーターの養成 ◆関係団体の活動支援、連携事業の実施 	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">→</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(体制構築)</td> </tr> </table>	前期	後期	○	→	(体制構築)	
前期	後期								
○	→								
(体制構築)									
地域と連携した魅力ある学校づくりの推進	学校と地域の理想的な関係を築き、次代を担う子どもたちを育成するため、『魅力ある学校づくり地域協議会』により、保護者や地域の連携強化や教育力の向上及び、学校と家庭・地域・企業等の連携した事業の実施を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆魅力ある学校づくり地域協議会への設置・運営支援 ◆親学、特色ある活動への支援 ◆設立推進委員会による支援 ◆地域協議会支援委員会による支援 	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→			
前期	後期								
→									
宮っ子ステーション事業の推進	放課後における児童の健やかな育成を図るため、地域、学校等と連携して児童の安全・安心な居場所を設けるとともに、子どもたちが地域社会の中で心豊かに育まれる環境づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆放課後子ども教室と子どもの家事の実施（同一の運営委員会で運営） ◆子どもの体験・交流活動機会の提供 ◆乳幼児の遊び場及びその保護者の交流機会の提供 ◆活動拠点施設の整備 	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→			
前期	後期								
→									
地域教育推進センター機能の整備	教育活動を通じて地域に貢献する人材の育成や、指導者等の活動の活性化を図るため、体系的・専門的な学習を促進する拠点機能を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域指導者や関係職員に対する研修・交流会等の実施 ◆生涯学習コーディネーターの養成 ◆学校支援ボランティアの育成 ◆生涯学習センター等の関係機関への支援 	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">→</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(体制構築)</td> </tr> </table>	前期	後期	○	→	(体制構築)	
前期	後期								
○	→								
(体制構築)									
（仮称）第3図書館の整備	地域の教育力を高めるとともに、地域交流の活性化を図るため、「子ども」に関わる図書や事業の実施等の特徴とし、地域活動や文化芸術活動を促進する機能を備えた図書館を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童書や家庭教育に関する資料・情報の充実 ◆子どもの読書活動支援や学校図書館支援機能の整備 ◆幼児等が遊べる場の充実 ◆集会・発表の場の充実 	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(整備)</td> </tr> </table>	前期	後期	○		(整備)	
前期	後期								
○									
(整備)									

■ 施策の体系

1 社会をつくる人づくりの推進

● 施策目標

一人ひとりが人間力を向上させ、よりよい地域社会をつくるために貢献しています。

● 施策指標

指標名	現状値 (H18実績)	目標値 (H24)
全生涯学習センターで開催される講座・事業への延べ参加者数	30,814人	34,000人

【基本事業】

- 地域まちづくりにおける人づくりの推進
 - ・ 市民性（シチズンシップ）教育の推進
 - ・ ふるさと教育の推進
 - ・ 人づくり推進のためのしくみづくり
- 社会の変化に対応する社会教育の充実
 - ・ 体験活動・読書活動の充実
 - ・ 人権・国際理解教育の推進
 - ・ 現代的課題に関する学習の推進

2 家庭・地域の教育力の向上

● 施策目標

それぞれの家庭での教育と連携し、地域をあげて子どもを育成しています。

● 施策指標

指標名	現状値 (H19.10現在)	目標値 (H24)
放課後子ども教室に係る延べ地域活動者数	92人	4,680人

【基本事業】

- 家庭教育への支援
 - ・ 親学の推進
 - ・ 家庭教育支援センター機能の整備
 - ・ 家庭教育サポーターの養成
- 家庭・学校・地域・企業の連携強化
 - ・ 地域と連携した魅力ある学校づくりの推進
 - ・ 宮っ子ステーション事業の推進
 - ・ 学校支援ボランティアの育成
 - ・ 企業と地域社会との連携促進

3 生涯学習活動への支援充実

● 施策目標

一人ひとりが、自分にあった学びの機会や場を得て、生き生きと学んでいます。

● 施策指標

指標名	現状値 (H19.4現在)	目標値 (H24)
生涯学習コーディネーターの人数	24人	100人

【基本事業】

- 人づくり推進基盤の整備
 - ・ 地域教育推進センター機能の整備
 - ・ 社会教育主事の養成・活用の促進
- 市民の主体的な学習活動の促進
 - ・ 生涯学習コーディネーターの養成
 - ・ 人材かがやき支援事業の実施
 - ・ 市民大学の充実
- 多様な生涯学習活動機会の充実
 - ・ 生涯学習センターの整備・充実
 - ・ 図書館の整備・充実
 - ・ (仮称) 第3図書館の整備

2 信頼される学校教育を推進する

■現状・課題

少子高齢化や情報化、国際化などの社会経済環境の急激な変化に伴い、近年、家庭、地域社会など、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、学校教育に対しても、新たな取組が求められています。こうした中、市民の期待に応えることのできる魅力のある学校づくりを進めるため、児童生徒はもとより、家庭や地域からも信頼される学校教育を推進していくことが重要になっています。

■取組の基本方向

「信頼される学校教育を推進する」ため、確かな学力を身に付けた児童生徒を育成するための「学力向上の推進」、心身ともにたくましい児童生徒を育成するための「豊かな人間性と健やかなからだの育成」、信頼性の高い、特色と魅力ある学校づくりのための「地域と連携した独自性のある学校経営の推進」、教育施設の安全性・快適性を高めるための「教育環境の充実」、特別な支援を必要とする児童生徒に適切な教育を提供するための「特別支援教育の充実」、教職員の資質・専門性の向上を図るための「高い指導力と情熱をもつ教職員の育成」、生涯にわたる人間形成の基礎を培うための「幼児教育の充実」、市民の自己実現の一翼を担う「高校、高等教育の充実」に、重点的に取り組みます。

■基本施策目標

信頼される学校教育が推進され、児童生徒が、充実した学校生活を送っています。

■重点事業

事業名	目的	内容	スケジュール				
「分かる授業」実践プロジェクト事業	児童生徒が、基礎的・基本的な学習内容や、実生活の中で、知識や技能を活用する力を身に付けられるよう、「分かる授業」の推進を図る。	◆学力に関わる調査の実施 ◆授業力向上のための調査結果の有効活用	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	
前期	後期						
→							
いじめゼロ運動の推進	児童生徒が、いじめを許さない態度を身に付けられるとともに、市民総ぐるみにより、いじめの根絶を図るため、学校でのいじめ対策の強化や、家庭や社会への啓発活動を行う。	◆いじめゼロ強調月間の設定 ◆いじめゼロ市民集会の実施 ◆いじめ防止教室の実施 ◆いじめ対策研修の実施	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	
前期	後期						
→							

<p>「うつのみや元気っ子プロジェクト」(体力向上)の推進</p>	<p>生涯にわたり健康に生活するための体力を身に付けられるよう、全小中学校で実践する体力向上推進計画を策定し、本市児童生徒の体力の向上と健康の保持増進を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆新体力テストの全校実施と結果の有効活用 ◆ミニマム³⁸達成のための「体力向上プログラム」の検討・実施 ◆「うつのみや元気っ子チャレンジ」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・グループや学級単位で取り組む体力づくり ・認定証の発行 ◆学校体育における、家庭・地域・企業・大学との連携手法の検討、実施 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">前期</td> <td style="width: 50%;">後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">○————→</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(計画策定)</td> </tr> </table>	前期	後期	○————→		(計画策定)	
前期	後期								
○————→									
(計画策定)									
<p>小中一貫教育の推進</p>	<p>小中学校間の円滑な連携を図るため、9年間を見通した発達段階に応じた系統的な指導を可能とする小中一貫教育を全市で推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆小中一貫教育カリキュラムの開発 ◆小中一貫地域学校園の導入・推進 ◆施設一体型小中一貫「9年制教育学校」の設置 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">前期</td> <td style="width: 50%;">後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">○————→</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(全市実施)</td> </tr> </table>	前期	後期	○————→		(全市実施)	
前期	後期								
○————→									
(全市実施)									
<p>校舎・体育館耐震化事業</p>	<p>地震発生時に児童生徒等の安全を確保するとともに、地域住民の応急避難場所としての役割を果たすため、校舎・体育館の耐震性を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆昭和56年以前の建築基準による校舎・体育館について、早期にすべての耐震化を実施(平成27年度、耐震化完了を目標) 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">前期</td> <td style="width: 50%;">後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">————→○</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(完了)</td> </tr> </table>	前期	後期	————→○		(完了)	
前期	後期								
————→○									
(完了)									
<p>宮っ子キャリアタウン(職業体験システム)の構築</p>	<p>市民一人ひとりの職業観、勤労観を育むため、産学官連携による教育環境の整備を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設及び管理運営体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・商店街空き店舗、学校空き教室等の活用 ・協賛企業、協力企業等への協力呼びかけ ◆全児童生徒による体験学習の実践 ・キャリア教育プログラムの検討・開発 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">前期</td> <td style="width: 50%;">後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">————→○</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(システム構築)</td> </tr> </table>	前期	後期	————→○		(システム構築)	
前期	後期								
————→○									
(システム構築)									
<p>学校リフレッシュ化の推進</p>	<p>児童生徒が生き生きと学習し、充実した学校生活を送れるよう、安全でゆとりや潤いのある施設環境を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆空調設備の充実 ◆トイレ改修 ◆校舎窓ガラスの透明化 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">前期</td> <td style="width: 50%;">後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">○————→</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(冷房化)</td> </tr> </table>	前期	後期	○————→		(冷房化)	
前期	後期								
○————→									
(冷房化)									
<p>特別な教育的支援を要する児童生徒に対する指導の充実</p>	<p>特別な教育的支援を要する児童生徒一人ひとりに適切に対応するため、特別支援教育の担当者が個別指導や小集団指導などのきめ細かな指導を行う場を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆通常学級(教室)外の支援の場の設定 ◆特別支援教室で個別指導や、自教室での学習に対するチームティーチングによる支援の実施 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">前期</td> <td style="width: 50%;">後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">○————→</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(教室整備)</td> </tr> </table>	前期	後期	○————→		(教室整備)	
前期	後期								
○————→									
(教室整備)									
<p>教職員人材育成の充実</p>									

³⁸ ミニマム 本市全児童・生徒が、小・中学校卒業までに身に付けている運動技能・体力の最低水準を表す。

<p>本市独自の教職員 研修カリキュラム の構築</p>	<p>教職員の使命感や専門性を高め、広く信頼される教職員を育成するため、本市の教育的課題や教職員のニーズを的確に反映した本市独自の研修カリキュラムを構築する。</p>	<p>◆人材育成システムに基づく本市独自の教職員研修カリキュラムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資質・指導力向上のための研修の充実 ・リーダー育成を図る研修の充実 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">前期</td> <td style="width: 50%;">後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	
前期	後期						
→							
<p>研修体制の整備・ 充実</p>	<p>新たに構築した教職員研修カリキュラムを効率的・効果的に実施するため、研修実施を支える体制の整備・充実を図る。</p>	<p>◆本市単独実施研修の拡大に伴う研修体制の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員総合研修センター機能の構築（研修機能、調査研究機能、授業力向上支援、カリキュラム開発支援等の機能強化 等） 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">前期</td> <td style="width: 50%;">後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	
前期	後期						
→							

■施策の体系

1 学力向上の推進

●施策目標

児童生徒が、学ぶ意欲をもち、基礎学力を身に付けています。

●施策指標

指標名	現状値 (H18 実績)	目標値 (H24)
学習内容定着度調査での正答率(中学校3年生の国語)		
80%以上の割合	55.4%	80.0%
50%未満の割合	4.8%	3.6%

【基本事業】

●学習指導の充実

- ・「分かる授業」実践プロジェクト事業
- ・学習支援の充実
- ・習熟度別・少人数指導の推進

●社会の変化に対応できる教育活動の充実

- ・キャリア教育の推進
- ・外国語指導助手派遣の充実
- ・外国人児童生徒支援の充実

2 豊かな人間性と健やかなからだの育成

●施策目標

児童生徒が、思いやりやたくましい心と体をもち、規範意識をもって生活しています。

●施策指標

指標名	現状値 (H19.3 現在) (H18.12 現在)	目標値 (H24)
いじめの解消率(小・中学校)	91%	96%
新体力テスト総合評価のS～A段階の割合(中学校3年生)	13.9%	20.0%

【基本事業】

●豊かな心や社会性を高める取組の推進

- ・いじめゼロ運動の推進
- ・心を育む教育活動推進事業
- ・学校図書館・読書活動の充実

●たくましい心身を育てる指導の充実

- ・部活動の推進
- ・「うつのみや元気っ子プロジェクト」(体力向上)の推進
- ・「宮っこ・食べっこ・元気っこプロジェクト」(食育)の推進
- ・薬物乱用防止教育・性教育の充実

3 地域と連携した独自性のある学校経営の推進

●施策目標

各学校が、家庭や地域、企業と連携・協力しながら、信頼され魅力のある学校づくりを進めています。

●施策指標

指標名	現状値 (H18.3 現在)	目標値 (H24)
「魅力ある学校づくり地域協議会」において、学校経営や教育活動の充実・支援を図るために実施している事業数（小・中学校）	77 件	910 件

【基本事業】

●保護者、地域住民、企業等の協力と参画の推進

- ・地域の学校づくりの推進
- ・家庭・地域・企業等による学校支援の充実

●活力ある学校経営の推進

- ・学校裁量権の拡大
- ・特色ある学校づくりの推進
- ・学校マネジメントシステムの充実

●新たな教育システムの導入

- ・小中一貫教育の推進
- ・宮未来フロンティア制度の推進
- ・研究学校の指定と成果の活用
- ・宮っ子キャリアタウン（職業体験システム）の構築

4 教育環境の充実

●施策目標

児童生徒が、安全で快適な教育環境の中で学校生活を送っています。

●施策指標

指標名	現状値 (H19.3 現在)	目標値 (H24)
耐震化率（学校校舎・体育館）	45.7%	83.1%

【基本事業】

- 校舎・体育館等整備の促進
 - ・校舎・体育館耐震化事業
 - ・校舎大規模改造事業
 - ・体育館改築・武道場新築事業
- 教育環境改善の推進
 - ・学校リフレッシュ化の推進
 - ・防音校舎冷房化事業
 - ・シックスクール問題対策マニュアルの活用・推進
- 学校事務改善の推進
 - ・学校経営支援事業
 - ・校務改善事業
 - ・次世代教育ネットワーク構築事業

5 特別支援教育の充実

●施策目標

児童生徒一人ひとりが、ニーズに応じた適切な教育的支援を受けています。

●施策指標

指標名	現状値 (H19.3 現在)	目標値 (H24)
特別な支援を要する児童生徒に対し、個別の指導計画を作成して指導している学校の割合	61.6%	97.8%

【基本事業】

- 特別支援教育の学習環境づくり
 - ・一人ひとりの特性に応じた指導技術の向上
 - ・通級指導教室活用推進事業
 - ・特別な教育的支援を要する児童生徒に対する指導の充実
- 教職員の専門性の向上
 - ・リーダー教員の養成
 - ・特別支援学級・通級指導教室担当者の人材育成システムの構築
- 幼児期からの一貫した支援の推進
 - ・子ども発達センターと連携した相談支援事業
 - ・特別支援学校との交流推進事業
 - ・障がい児発達支援ネットワークの推進

6 高い指導力と情熱をもつ教職員の育成

●施策目標

教育への情熱があり、信頼される教職員が育成されています。

●施策指標

指標名	現状値 (H19 実績)	目標値 (H24)
「教職員ひらめき提案制度」への応募提案件数	42 提案	300 提案

【基本事業】

- 教職員人材育成システムの構築
 - ・教員のタマゴ支援事業
 - ・特性を生かした教職員配置
 - ・リーダー教員の育成支援
- 教職員研修事業の充実
 - ・本市独自の教職員研修カリキュラムの構築
 - ・研修体制の整備・充実
- 自律行動型教職員の育成
 - ・やる気を育てる教職員評価の実施
 - ・がんばる教職員顕彰制度の構築

7 幼児教育の充実

●施策目標

幼児が、人間形成の基礎となる適切な教育を受けています。

●施策指標

指標名	現状値 (H19.11 現在)	目標値 (H24)
幼稚園地域子育て支援事業実施園数	40 園	48 園

【基本事業】

- 幼稚園等教育の充実
 - ・宮っ子就学前プログラムの構築
 - ・幼児教育推進機能の整備
 - ・認定子ども園の設置推進事業
- 幼児教育に係るネットワークの構築
 - ・幼・保・小の交流推進事業
 - ・福祉施設、NPO等との連携事業
- 家庭教育の充実
 - ・幼稚園親学支援事業

8 高校、高等教育の充実

●施策目標

市民が自己実現を図るために必要な、高度で専門的な学習機会や場が充実しています。

●施策指標

指標名	現状値 (H19 実績)	目標値 (H24)
市内 8 大学の公開講座数	69 講座	80 講座

【基本事業】

- 高校・高等教育環境の充実
 - ・高校・高等教育機関、企業との連携・活用事業
 - ・教育ファンド創設事業
- リカレント教育の充実
 - ・企業、高等教育機関等を活用したリカレント教育³⁹の充実
 - ・リカレント教育受講生への支援事業
- 教育資金負担軽減策の充実
 - ・奨学金制度の充実
 - ・入学一時金貸付制度の充実

³⁹ リカレント教育 社会人が新しい知識・技術・資格などを身に付けるため、再び教育を受ける、または学習すること。

3 個性的な市民文化・都市文化を創造する

■現状・課題

個性豊かな市民文化の創出や自主的な芸術文化活動への欲求が高まりを見せる一方で、ものの豊かさやライフスタイルの変化を一因として、地域の文化遺産・伝統文化に対する関心や、その継承に関する意識が薄れてきています。こうした中、文化が薫り、市民が全国に誇れる宇都宮を築いていくため、個性的な市民文化・都市文化を創造することが重要になっていきます。

■取組の基本方向

「個性的な市民文化・都市文化を創造する」ため、市民の自主的な文化活動を推進するための「文化活動環境の充実」、市民の文化遺産・伝統文化に対する意識を高めるための「文化的資源の掘り起こし、保存、継承」に、重点的に取り組めます。

■基本施策目標

本市の誇りである地域文化が市民の手により生まれ、魅力あふれる個性的な市民文化・都市文化が創造されています。

■重点事業

事業名	目的	内容	スケジュール				
文化芸術体験支援事業	市民が身近に文化芸術に触れる機会を創出し、文化振興の裾野を広げるため、地域や各世代に向けた体験支援事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆文化芸術体験講座の実施 ◆子どもの文化芸術活動支援事業 ◆地域文化の振興 ・本市独自の文化資源の活用 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	
前期	後期						
→							
ふるさと宇都宮の伝統文化の継承	本市の伝統文化を振興し、次世代に継承していくため、子どもたちが伝統文化に身近に触れる機会を創出するとともに、地域の継承活動の環境づくりや、人材育成の支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆伝統文化継承連絡協議会の設立 ◆普及啓発事業 ・伝統文化フェスティバル開催 ・伝統文化ふれあい教室 ・教職員研修、人材派遣 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	
前期	後期						
→							
宇都宮城址公園歴史体験学習施設の整備活用	本市や宇都宮城の歴史、文化財を普及啓発するとともに、歴史を通して市民の道徳心を育成するため、教育的機能を併せもつ歴史体験学習施設の整備・活用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ◆宇都宮城址公園土塁内施設の整備・活用 ◆ネットワーク中核施設の整備 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td>○ (整備)</td> <td>→</td> </tr> </table>	前期	後期	○ (整備)	→
前期	後期						
○ (整備)	→						

■ 施策の体系

1 文化活動環境の充実

● 施策目標

市民が、主体的に芸術文化活動を展開しています。

● 施策指標

指標名	現状値 (H19 実績)	目標値 (H24)
市民芸術祭, ジュニア 芸術祭の参加者数	101, 892 人	12 万人

【基本事業】

- 文化芸術の学習・発表・鑑賞機会の充実
 - ・市民芸術祭, ジュニア芸術祭の開催
 - ・ストリートパフォーマンス事業
 - ・文化芸術体験支援事業
 - ・文化会館・美術館の改修及び教育普及事業の充実
- 文化芸術を担う人材・団体育成・支援の推進
 - ・宇都宮市文化功労賞創設
 - ・宇都宮エスペール文化振興事業
 - ・舞台芸術, 美術創造活動支援事業
 - ・文化ボランティアの育成・支援
- 個性ある文化資源活用の推進
 - ・ジャズのまちづくり推進事業
 - ・妖精によるまちづくり推進事業

2 文化的資源の掘り起こし, 保存, 継承

● 施策目標

市民が文化遺産・伝統文化などの文化的資源を活用し, 各々の地域に根ざした文化を守り, 伝え, 育んでいます。

● 施策指標

指標名	現状値 (H19.5 現在)	目標値 (H24)
文化財保存団体数	31 団体	41 団体

【基本事業】

- 文化継承・伝統文化の保存・継承・活用
 - ・ふるさと宇都宮の伝統文化の継承
 - ・宇都宮城址公園歴史体験学習施設の整備活用
 - ・重要遺跡の整備
 - ・文化財保存活動の支援
 - ・大谷の景観資源の保全
- 歴史・文化財活用ネットワークの構築
 - ・文化財活用・情報発信システムの構築
 - ・文化財案内システムの充実
 - ・文化財の展示・啓発

4 生涯にわたるスポーツ活動を促進する

■現状・課題

少子高齢化の進行や地域コミュニティの希薄化などに伴い、健康づくりや生きがいづくり、地域における連帯感の醸成など、スポーツ活動の果たす役割がますます増大しています。こうした中、スポーツの多面的な効用を生かすため、市民の生涯にわたるスポーツ活動を促進することが重要になっています。

■取組の基本方向

「生涯にわたるスポーツ活動を促進する」ため、市民が自分に合ったスポーツに親しむための「スポーツ活動環境の充実」、より効果的にスポーツ活動を促進するための「スポーツを支える人材の育成、団体の活性化」に、重点的に取り組めます。

■基本施策目標

市民それぞれの目的に応じた自主的・継続的なスポーツ活動が活発化し、暮らしの中にスポーツがより深く浸透しています。

■重点事業

事業名	目的	内容	スケジュール				
地域スポーツクラブの育成	市民が身近な地域において、生涯にわたってスポーツに親しむことができる社会を実現するため、地域住民が主体的に運営する地域スポーツクラブの設立・運営を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆中学校単位を基本とした、市内25か所への地域住民の主体的な運営による地域スポーツクラブの設立 ・設立、運営に係る財政的な支援 ・活動場所の確保に向けた支援 ・設立、運営に係る助言 	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	
前期	後期						
→							
プロスポーツの開催	市民がレベルの高い競技に触れることにより、スポーツ人口の底辺拡大を図るとともに、市のイメージアップ、地域経済の活性化にもつなげるため、プロスポーツを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ジャパンカップサイクルロードレースの開催 ◆プロ野球の開催 	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	
前期	後期						
→							
スポーツ施設の整備	市民が積極的にスポーツに取り組めるよう、市民ニーズを踏まえ、施設を整備するとともに、老朽化するスポーツ施設を計画的に整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆河内総合運動公園の整備（多目的広場の整備） ◆市体育館の再整備 ◆宮原運動公園の再整備 	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	
前期	後期						
→							

指導者の発掘・活用	市民のスポーツ活動を支える指導者をより多く確保するため、スポーツ指導者としての資質や意欲を有する人材を掘り起こし活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 団塊世代層のスポーツ人材活用 ◆ スポーツ少年団指導者OBの活用 ◆ 大学や企業等と連携した指導者の確保 ◆ 本市ゆかりの一流選手の活用 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">前期</td> <td style="width: 50%;">後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	
前期	後期						
→							
プロスポーツチームへの支援	青少年をはじめとする市民のスポーツへの興味・関心を高めるとともに、地域と一体となったチームづくりを通じ、地域の活力と都市の魅力の創造を図るため、プロスポーツチームを支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本市をホームタウンとするプロスポーツチームへの支援 ・ ファン層及び支援組織拡大などのための広報活動 ・ 練習場、試合会場の確保 ・ 社会貢献活動の場、機会の提供等 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">前期</td> <td style="width: 50%;">後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">→</td> </tr> </table>	前期	後期	→	
前期	後期						
→							

■ 施策の体系

1 スポーツ活動環境の充実

● 施策目標

市民が主体的に自分に合ったスポーツに取り組んでいます。

● 施策指標

指標名	現状値 (H18 実績)	目標値 (H24)
20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ活動実施率	31.4%	44.0%

【基本事業】

- 地域におけるスポーツ活動の推進
 - ・ 地域スポーツクラブの育成
 - ・ ニュースポーツの普及
- スポーツ参加機会の拡大
 - ・ スポーツ大会、スポーツ教室の充実
 - ・ プロスポーツの開催
 - ・ 野外活動事業の充実
 - ・ スポーツ情報提供の充実
- スポーツ施設や場の充実
 - ・ スポーツ施設の整備
 - ・ 身近な地域におけるスポーツ活動の場の充実
 - ・ 県総合スポーツゾーン形成の促進

2 スポーツを支える人材の育成、団体の活性化

● 施策目標

市民のスポーツ活動が多く、指導者、スポーツ団体により支えられています。

● 施策指標

指標名	現状値 (H19.10 現在)	目標値 (H24)
スポーツ指導者の登録者数	541名	835名

【基本事業】

- スポーツ指導者の育成・有効活用
 - ・ 指導者の資質向上
 - ・ 指導者の発掘・活用
 - ・ スポーツ人材バンクの整備
- スポーツ団体の活動支援
 - ・ スポーツ活動団体の育成・支援
 - ・ プロスポーツチームへの支援
 - ・ スポーツ顕彰制度の創設

5 健全な青少年を育成する

■現状・課題

社会経済環境や青少年を取り巻く環境の変化に伴い、コミュニケーションや自立に不安を抱えている青少年が増加するとともに、青少年の規範意識が低下しています。こうした中、将来への夢や希望を育みながら、社会の一員として健全な社会生活や活動を営める青少年を育成していくことが重要となっています。

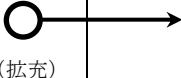
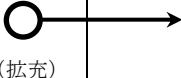
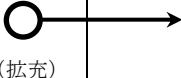
■取組の基本方向

「健全な青少年を育成する」ため、青少年が社会の一員として役割と責任を果たしていくための「青少年の社会的自立の促進」、青少年が非行や問題行動などを起こすことなく、健全に生活していくための「非行・問題行動の未然防止」に、重点的に取り組みます。

■基本施策目標

青少年自身が規範意識を持ち、非行や問題行動を起こすことなく、社会の一員として充実した生活を送っています。

■重点事業

事業名	目的	内容	スケジュール				
青少年の自立支援に関する総合相談事業	社会的自立や精神的自立に困難を抱えている青少年の自立を促進するため、総合的な相談事業を実施する。	◆窓口相談機能の充実 ◆訪問相談機能の充実	<table border="1"> <tr> <td>前期</td> <td>後期</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">  (拡充) </td> </tr> </table>	前期	後期	 (拡充)	
前期	後期						
 (拡充)							

■ 施策の体系

1 青少年の社会的自立の促進

● 施策目標

青少年が自立して、社会の中での責任や役割を自覚し、活動しています。

● 施策指標

指標名	現状値 (H17.10 現在)	目標値 (H24)
若年者（15～34 歳）における非労働者（家事・通学を除く）の割合	1.10%	1.00%以下

【基本事業】

● 青少年の社会参加の促進

- ・子どもの体験活動の促進
- ・宇都宮ジュニア未来議会の開催
- ・仲間づくり推進事業

● 健全育成活動の推進

- ・ふれあいのある家庭づくり事業
- ・青少年の居場所づくり事業
- ・青少年育成団体の活動支援

● 自立支援対策の推進

- ・高校生のための職業観育成講座の開催
- ・青少年の自立支援に関する総合相談事業
- ・自立支援ネットワークの充実

2 非行・問題行動の未然防止

● 施策目標

青少年が非行や問題行動等を起こすことなく、健全に生活しています。

● 施策指標

指標名	現状値 (H19 実績)	目標値 (H24)
巡回指導による被指導者数	3,537 人	3,500 人以下

【基本事業】

● 非行・問題行動未然防止の環境づくり

- ・市民総ぐるみ環境点検活動
- ・巡回指導や青少年相談活動の充実
- ・大人の意識改革の推進
- ・青少年指導者の養成

● 青少年の規範意識の醸成

- ・問題行動対策の推進
- ・薬物乱用防止運動の推進